

## 学習コンテンツ 利用の手引き

コンテンツタイトル ネットゲームについて学ぼう

対象学年 小学校 高学年

学習のねらい

インターネット環境が整い、気軽にインターネットゲームに参加できるようになるのに伴い、ネット依存症になる心配もでてきた。ネットゲームについて学ぶ中で、ネット依存症の怖さを感じさせる。

学校で指導する際の学習展開例

	児童の学習活動とスライド等の番号	指導上の留意点
導入	○スライド1 「ネットゲームって知ってる？」 ○スライド2 「ネットゲームってどんなゲームだろう？」 ○スライド3	<ul style="list-style-type: none"><li>・ インターネット上のゲームについて想起させる。</li><li>・ 知っているネットゲームの知識を知る。</li><li>・ ネットゲームについて知る。</li></ul>
展開	○スライド4～6 「あと少しでクリアできそうなんだけど」君ならどうする？ ○スライド7～9 「明日の10時に一生に遊ぼうよ！」といわれた。君ならどうする？ ○スライド10～12 「貴重なアイテムが手に入るらしい」君ならどうする？	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 自分だったらどうするかな？という視点に立って、考えていかせる。</li><li>・ 「もっとゲームをやりたい」という視点で考えさせる。</li><li>・ 児童の葛藤を取り入れながら進めていく。</li></ul>
まとめ	○スライド13 「こんなこともあるよ」	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ネットゲームの怖さが伝わる。</li></ul>

コンテンツ利用に必要な環境

提示用パソコン，プロジェクター，スクリーン

## 学習コンテンツの解説

最近、ネット依存症からの不登校やひきこもりがちの児童が増えてきている。身近な環境にインターネットがあり、刺激的なネットゲーム（オンラインゲーム）がすぐにできる環境となっている。有料のネットゲームでは、ゲームをする人をあきさせないような工夫をして、つねに楽しいゲームの環境を作っている。そのため、ゲームにのめりこみ、時間の感覚や直接人と人とのコミュニケーションをしないで引きこもってしまうという「ネット依存症」になることもある。

そこで、ネットゲームの知識とネットゲームの怖さをこの授業を通して伝えることで、ネット依存症への予防になればと思う。



### スライド1

- ・ ネットゲームについて学ぼう



### スライド2

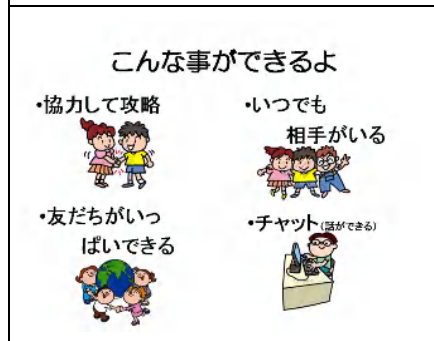
- ・ ネットゲームってどんなの？

ネットゲームについての知識を知る場面

イメージを作るとよい

ニンテンドーDSの通信機能のようなものもある

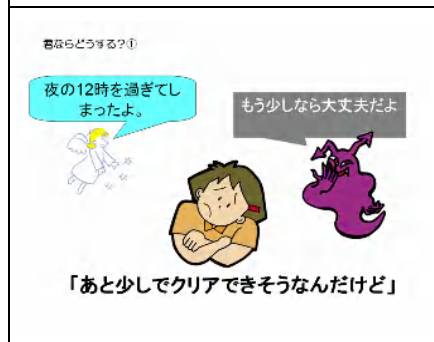
（無料で遊べるゲームもあるが、期間が決まっていればらくすると料金がかかるようになるゲームも存在する。）



### スライド3

- ・ こんな事ができるよ

友だちができる・相手がいつでも見つかるなど、プラス面を中心に伝え、この後の学習の怖さを引き立たせられるようにする。

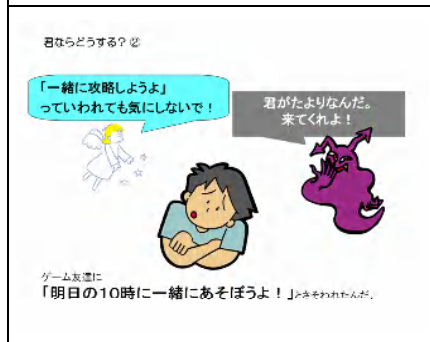
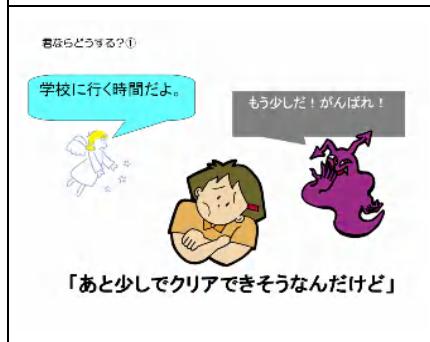
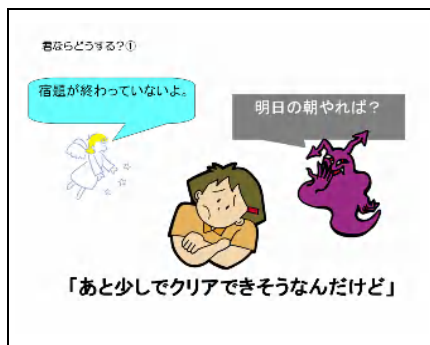


### スライド4～6

- ・ 君ならどうする「あと少しでクリアできそうだけど」

ネットゲーム以外にもゲームでは、よくある葛藤をあつかう。

自分でゲームの時間を決めてやる事が大切であると伝えたい。



※1 この場面では、児童の状況に合わせて、葛藤の言葉を書き入れてください。

※2 また、スライドを加工・印刷して、児童のワークシートとして使用してもよい。

#### スライド7～9

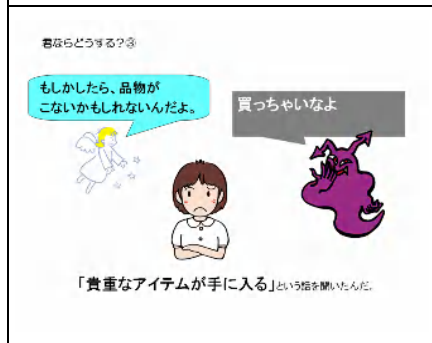
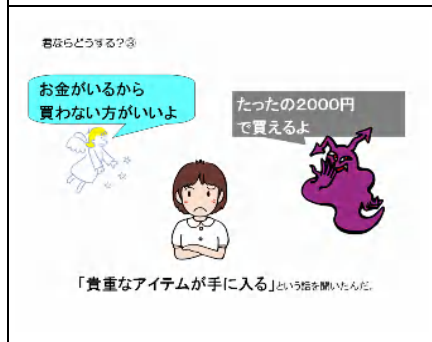
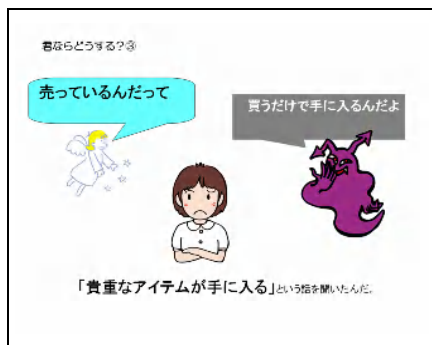
- ・ 君ならどうする「明日の10時にあそぼうよ！」

インターネットの中では、時間にとらわれないことに注目させたい。

時間の感覚がなくなって、不登校やひきこもりになる事があるので、時間にとらわれない怖さを学ばせたい

※1 この場面では、児童の状況に合わせて、葛藤の言葉を書き入れてください。

※2 また、スライドを加工・印刷して、児童のワークシートとして使用してもよい。



## スライド10～12

### ・ 君ならどうする「貴重なアイテムが手に入る」

どうしてもほしいアイテムがあった時の葛藤を考える  
ネット上でゲームのアイテムの売買やオークションなど  
での詐欺の被害がある。そういう被害にあわないように  
注意を促してほしい

※1 この場面では、児童の状況に合わせて、葛藤の言  
葉を書き入れてください。

※2 また、スライドを加工・印刷して、児童のワーク  
シートとして使用してもよい。

## スライド13

### ・ こんなことも

とっても魅力的なネットゲームだが、いろいろな問題  
があり、社会現象にもなっている。

人と人とのコミュニケーションが上手くいかないの  
で、引きこもりになることもある。

ゲームのし過ぎだけでなく、刺激の強いゲームでは体  
調を壊したり命を落とすこともある。

参考文献等

「インターネット依存症からの回復」

[http://www.f6.dion.ne.jp/~naka\\_i/](http://www.f6.dion.ne.jp/~naka_i/)

「どうしてもあの人はネット依存性になったのか？ あなたに忍び寄るネット依存症」

<http://allabout.co.jp/internet/internetgame/closeup/CU20050523A/index.htm>

「知らない間に心や体を侵す「ネット依存症」

<http://www.nikkeibp.co.jp/archives/389/389237.html>

「インターネット依存症」

<http://www.angels-eyes.com/>

「あなたの健康百科」

<http://www.medical-tribune.co.jp/kenkou/200308221.html>

子ども向けサイト

「Yahoo！キッズ -特集ネットの安全 ABC-」

<http://kids.yahoo.co.jp/docs/event/netiquette2006/rule/05.html>

「ネット社会の歩き方」

<http://www.cec.or.jp/net-walk/ujidx/>

「30 ネット依存に注意」

<http://www.cec.or.jp/net-walk/ujidx/izon.html>